

脳卒中リハビリテーション看護 (1病棟 千葉・3病棟 木村)

**従来の嚥下カンファレンスを「摂食嚥下支援チーム」に改名し、11月から摂食嚥下機能回復体制加算の算定を開始しました！**  
**多職種で連携し摂食・嚥下障害患者に提供する医療リハビリテーションの向上を図ります！**

従来の「摂食嚥下支援加算」は算定要件が厳しく、当センターでは算定できていませんでした。多くの病院で未算定である実態を踏まえて、令和4年の診療報酬改訂により「摂食嚥下機能回復体制加算」に名称変更され、施設基準が緩和されました。従来は摂食嚥下分野の認定看護師が必須でしたが、私たち脳卒中分野の認定看護師でもよいということになりました。

摂食嚥下機能回復体制加算は、摂食機能療法に付随した加算となり、週に1回190点、VFかVEの実施が必須となります。得られる報酬が少なく、コストパフォーマンスは決して良くありませんが、嚥下障害は生命予後やQOLを決定する大きな要因であり、神経難病患者では嚥下障害の特徴が一定ではなく、対応に苦慮することも少なくありません。経験のあるチームメンバーで個別に検討し、安全で質の高い医療リハビリテーションの提供を図ります。多職種チームが活動していることは、患者や家族からの評価、病院機能評価など第三者からの評価にもつながります。

当センターでは、すでに「嚥下カンファレンス」が行われていました。参加メンバー間で協議し、マニュアル等を整備した上で「摂食嚥下支援チーム」として関係部署の皆様から正式に承認をいただき、11月から算定を開始しています。摂食嚥下に関する相談は、いつでも摂食嚥下支援チームにお声がけください。

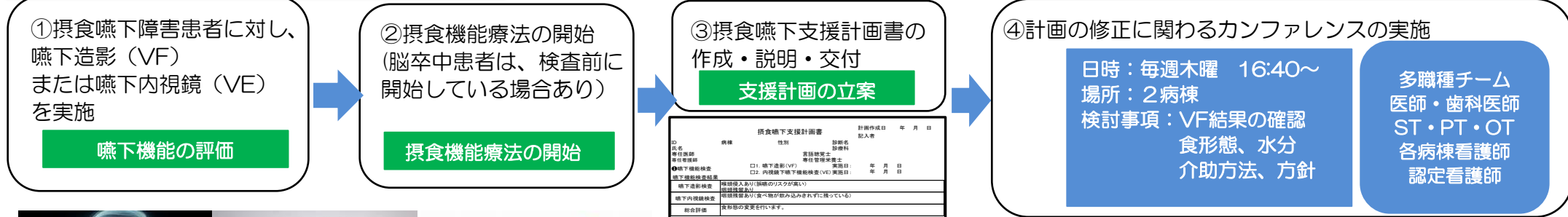
**【摂食嚥下機能回復体制加算2の概要】**

診療報酬：190点（週1回）

**【対象患者】**  
摂食機能または嚥下機能の回復が見込まれる患者(摂食機能療法実施中の患者)

- 【算定要件】**
- ①以下から構成される摂食嚥下支援チームの設置  
医師または歯科医師、管理栄養士、専従の言語聴覚士または専任の認定看護師（摂食嚥下or 脳卒中分野）
  - ②月1回以上の嚥下造影検査（VF）または嚥下内視鏡検査（VE）の実施  
→検査を1回しか行わない場合は4週間の算定で終了
  - ③FIM及びFOIS（functional oral intake scale 7段階の経口摂取レベル）の測定
  - ④摂食嚥下支援計画書の作成・説明・交付
  - ⑤計画の見直しにかかわるカンファレンスの実施と患者指導・管理

**摂食嚥下機能回復体制加算の流れ**



摂食嚥下支援計画書		計画作成日	年	月	日
ID	病棟	性別	診断名	記入者	
氏名			言語聴覚士		
専任看護師			専任管理栄養士		
●嚥下機能検査	□1. 嚥下造影(VF)	年月日	年月日		
	□2. 嚥下内視鏡検査(VE)検査日	年月日	年月日		
嚥下造影検査結果	嚥下造影検査結果				
嚥下内視鏡検査結果	嚥下内視鏡検査結果				
総合評価	総合評価				
●摂食嚥下能力評価(FOIS)	摂食嚥下能力評価(FOIS)				
□ Level 1	経管栄養と併用し、み程度の経口摂取				
□ Level 2	経管栄養と併用し、み程度の経口摂取				
□ Level 3	経管栄養と併用し、み程度の経口摂取				
□ Level 4	一時的のみ経口栄養(ゼリー食またはペースト食)				
□ Level 5	特別な準備なく経口栄養(通常の食物を本人が経口摂取)認め自由な摂取				
□ Level 6	特別な準備なく経口栄養(通常の食物を本人が経口摂取)認め自由な摂取				
□ Level 7	特別な準備なく経口栄養(通常の食物を本人が経口摂取)認め自由な摂取				
●計画的摂食嚥下支援計画	計画的摂食嚥下支援計画				
食へ物を使わない	経管栄養の量を増やして食へ物を使用する訓練				
嚥下訓練	嚥下訓練のための呼吸・嚥下・声の訓練				
食へ物を使った	食へのみの訓練				
嚥下訓練	安全な飲み方の指導				
口腔ケア	口腔ケア状況を確認し、必要があれば対応を行います。				
薬物の管理	訓練後、嚥下造影検査までの再評価を予定しています。				
今後の検査予定	今後の検査予定				
●摂食嚥下のための食事内容・食事摂取方法アドバイス	摂食嚥下のための食事内容・食事摂取方法アドバイス				
食形態	主食	副食	デザート	飲み物	その他
水分摂取方法	中とみ				
その他					
●摂食嚥下経過、カンファレンス結果	摂食嚥下経過、カンファレンス結果				
嚥下障害改善	嚥下障害改善				

**④計画の修正に関わるカンファレンスの実施**

日時：毎週木曜 16:40～  
場所：2病棟  
検討事項：VF結果の確認  
食形態、水分  
介助方法、方針

多職種チーム  
医師・歯科医師  
ST・PT・OT  
各病棟看護師  
認定看護師



計画書以外  
bing image creator  
で生成した画像を使用